

# NPO法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

## 設 立 趣 旨 書

### 1 設立の趣旨

日本を代表する活火山、噴煙たなびく帝王・浅間山の姿は、上信高原の象徴そのものであり、火山活動により造られた独特な山容と広大な裾野は、地域に固有の気候と生態系を生み出し、山麓の私たちにさまざまな恵みをもたらしてくれます。

その東に位置する吾妻郡は、日本屈指の温泉郷・草津温泉を筆頭に、大小さまざまな個性ある温泉の宝庫であり、美しき吾妻溪谷や、落葉広葉樹林帯の豊かな生態系など豊富な自然環境を有し、かつての養蚕農家の面影を残す、心落ち着く集落と里山では、今も民話や伝説が語り継がれています。さらには当地域からは縄文時代の土器や住居跡も発掘されており、当地は太古から自然と人の良き関係が保たれていた地域でした。

近年、旅行形態の傾向として、従来の物見遊山的な旅行から一步進んだ、『ニューツーリズム』への欲求が高まっています。中でも『エコツーリズム』は、旅先で手を加えていない、ありのままの自然や文化などを、時間をかけてじっくり味わい体験するもので、当地域にはその欲求を満たすことができる要素がふんだんにあるにもかかわらず、その情報の収集・公開・発信は十分ではありませんでした。また、いかに地域の特性を生かした旅行を提供したくとも、『エコツーリズム』の適正な認識と理解や、地域連携及び枠組みの仕組みが無くては、観光活動の過剰な利用により自然環境が劣化してしまうことや、地域の風俗慣習その他の伝統的な生活文化がねじまげられて伝わってしまうことも考えられます。

浅間・吾妻の最も大きな魅力である自然環境の良さと、あたたかい人のおもてなしを最大限アピールすることのできる『エコツーリズム』。地域の自然環境のよりよい保全とゆとりある活用、みずみずしい観光と産業の持続可能な発展、老若男女全てに役割のある安寧した社会は、『エコツーリズム』を推進実施することで実現できると考えます。

『エコツーリズム』の正しい普及と社会的地位の向上により、その指導者や案内人、あるいはコーディネーターとしての仕事は“地域の特性を生かし輝かせる”という役目を持つ、新たなあこがれの職業として成立します。住民の誇りと郷土愛を育み、若者に希望を与え、地域の活性化と連携が進んでいきます。

一方、都市生活者が緑豊かな農山村地域で自然や人とふれあう体験をすると、生理的リラックスによりストレス緩和や免疫機能の向上、血圧の低下などがエビデンスに裏付けられて解明されており、当地の『エコツーリズム』体験と温泉入浴等により癒され、健康が回復・増進するさまは『ヘルスツーリズム』の実践であるともいえます。

上記を踏まえ、当地域の『エコツーリズム』と『ヘルスツーリズム』の推進と発展に寄与する団体として、『浅間・吾妻エコツーリズム協会』を設立します。

## 2 設立申請に至るまでの経過

2010年7月～9月、当地域ではプレ群馬デスティネーションキャンペーンが実施され、翌年の本番に向けていくつかの体験プログラムが企画・実施されましたが、当地域ならではの魅力を、時間をかけてじっくりと味わうことができる体験プログラムの提供は、量・質ともに充実には至りませんでした。

また、良質のプログラムを有する個人や団体があっても、組織に属していないなど世に出るチャンスを得ていないために埋もれてしまっているケースや、他の情報を得ていないために内容が研鑽されていないプログラムも見受けられ、当地域にある優れた資源が日の目を見ることなく消失していく可能性も示唆されました。

これをきっかけに、当地域のエコツーリズムとヘルスツーリズムの総合案内窓口となる組織をつくり、情報の収集・公開・発信等の体制を整えていこうとナチュラリスト18名が集まり、設立発起人の意見に賛同した後、それぞれの意思疎通を行い、今回の申請をす

平成23年2月1日

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会  
群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原932番地A棟

設立代表者 赤木 道紘

